

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		農業振興対策事業					
事業の概要		安心・安全な農産物を求める消費者ニーズや環境保全に対する関心の高まりなどに対応した自然循環農業や、農家の方が安心して農業に取り組めるよう有害鳥獣対策を推進することにより、担い手の確保・育成を図り、本町の基幹産業の一つである農業の振興を図る。 ・自然循環型農業 ・有害鳥獣防除施設設置事業 ・有害鳥獣捕獲事業					
		事業期間	平成22年4月8日～平成23年3月31日				
		総事業費	12,417	本年度事業費	12,417	交付金交付額	6,208
事業評価	事業の必要性	本町の基幹産業の一つである農業の振興を図るため、農業基盤の整備に取り組むとともに、循環型農業をはじめとする特色ある農業の推進や、健康・安全指向などの消費者ニーズに対応した農産物の生産促進を図るものである。 また、有害鳥獣による農作物への被害は年々増加する傾向にあり、対策に係る費用が農家を圧迫しており、特別な支援の必要がある。					
	事業の有効性	安心・安全な農産物を求める消費者ニーズや環境保全への関心、食育の推進など、農業に対する関心や期待の高まりに対応した農産物の生産促進を図る自然循環型農業を推進し、農家の自立を支援する。 また、農作物被害の軽減を図り、農家が安心して作物を育成できる環境を整えることで、農家の生産意欲の増大が期待できる。					
	事業の効率性	農産物のブランド化、高付加価値化につながる自然循環農業を推進し、販路の開拓、地産地消の推進などを図り、併せて農家所得の向上を図る。 また、有害鳥獣による農作物の被害を防止するための対策を講じることで、農作物の質・量の向上を図る。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 2 住民の自治意識を高める成果 3 リーディング・モデル成果 食の安全が社会的に大きな注目を集める今日、有機肥料を用いた農作物は多くの需要がある。有機肥料を用いた安全な農産物の育成に取り組むことで、従来からの化学肥料等を大量に用いた効率重視の農業からの脱却を図るものである。 4 広域的波及成果 自然にやさしい循環型農業を推進することにより、自然環境保全や、阿蘇海の水源かん養、地産地消、消費者交流が図られる。 また、農地保全に積極的に取り組むことで、人手不足・後継者不足等に悩む農家の軽減が図られる。 5 行財政改革に資する成果 6 その他の成果 自然循環型の農業を推進することで、化学肥料の過剰な投与を防ぎ、また、自然環境に優しい農業を実現することができる。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。